

## 国語

### 〈良好であること〉

- ◎俳句の良さとして適切なものを選択すること。
  - ・季節に合わせて俳句を詠む活動に取り組んだり、委員会で季語を定期的に紹介したりしています。この活動を続けることで、児童に俳句の良さをつかむ力がついてきていると考えられます。

### 〈課題であること〉

- 同音異義の漢字を正しく書くこと。
- 漢字を正しく書くこと。
  - ・学習した漢字を正しく使うなど、基礎的・基本的な力をつけることが必要です。
- 目的や意図に応じ、必要な内容を複数の条件に合わせて書くこと。
  - ・与えられた条件を満たして文章を書くことに苦手意識を持っています。

### 【今後の取組】

- ☆単元や状況によって、授業のはじめに5分ドリルタイムを確保します。
- ☆基礎基本を確実に定着させるためにコンテストを工夫します。
  - ①問題の質を見直し、文章を読み取る問題なども取り入れます。
  - ②テスト期間を設定し、練習問題に繰り返し取り組ませチェック表を活用して児童の意欲を高めます。
- ☆新聞記事を読み、問われた内容に沿ったことを書くというNIEを活用した取組を、2年生以上の学年で行います。
- ☆国語の授業の「ふり返り」では、単元の取組に合わせてながら「筆者の考えと自分の考えを比べて書こう」など、条件を与えて書かせることを取り入れていきます。
- ☆大事なことを落とさず要約する力をつけるため、グループで話し合ったことをホワイトボードに記入するときには、ポイントのみを書く指導を行います。

## 算 数

### 〈良好であること〉

◎  $60 \times 0.4$  を  $60 \times 4$  を基にして考えるときの正しい求め方を選ぶこと。

- ・小数の大小関係について、数直線等を使って授業改善を行ってきた結果、昨年度より伸びが見られ、理解が深まっていることが伺えます。

### 〈課題であること〉

●  $6 + 0.5 \times 2$

- ・  $6 + 0.5 = 6.5$     $6.5 \times 2 = 13$  と答える児童が多く、計算の順序が守られていません。

●  $5 \div 9$  の商を分数で表すこと。

- ・分母と分子を逆に書く児童が多く、基礎的・基本的な力をつけることが必要です。

● 3等分するのは、13本のうち何本目の直線が交わった点かを書く。

- ・ある解決方法を基に、別の解決方法を考えることに苦手意識を持っています。

### 【今後の取組】

☆単元や状況によって、授業では5分間計算ドリルタイムを確保します。

☆わり算も、かけ算と同じように反復練習し、基礎基本の定着のためのコンテストを工夫します。学年をまたいだ総合的な復習に取り組めるよう、問題を学年の内容に限定せず、テスト期間を設定して取り組み、児童の意欲を高めます。

☆授業のねらいを「習得」「活用」「探求」と大きく分けて指導していきます。

習得のみの時間も設け、練習問題に数多く取り組ませて定着を図ります。

☆授業の「ふり返り」を次の授業につなげていきます。

## 学習状況調査から

### 〈良好であること〉

- ◎ 友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか。
  - ・集会活動で感想を交流し合う活動が続けることで、自分の考えを発表することへの抵抗が減り、自信へつながってきていると考えられます。

### 〈課題であること〉

- 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。
- 普段、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。
- 授業で学んだことを、ほかの学習や普段の生活に生かしていますか。

### 【今後の取組】

- ☆寝る時刻・朝起きる時刻が、全国平均より下回っています。  
休みの日の生活リズムの乱れが心配され、生活習慣を十分身につけることが大切です。
- ☆メールやインターネットをする時間などの約束を家庭で決め、守るようにしていく必要があります。角鹿中校区での統一したルールを使って、学校でも指導を繰り返し、家庭にもルールを広めていきます。
- ☆殆どの児童が、国語や算数の授業は、将来社会に出たときに役に立つと考えています。生活の中に役立つ場面があることを、単元のまとめなどで具体的に示し、更に自ら見つける力もつけていきます。

### 【角鹿中校区における共通した取組】

#### ☆基礎的・基本的内容の定着

- 『児童の弱み』を分析し、克服を目指した授業づくりを行います。
- 授業の終末に『振り返り』の時間を設定し、内容の整理と理解の確認に取り組みます。

#### ☆家庭学習時間の確保

- 家庭学習の成果を試す場を設定し、家庭と学校との『学習のつながり』を強化します。

#### ☆SNSに関する正しい知識の理解と使用上のマナー向上

- SNSの活用に関する『小中共通のルール』を設定し、継続した指導に取り組みます。

#### ☆活字とふれ合う機会の設定

- 『読書意欲』を高めるために学校図書館の環境整備や優良図書の紹介に努めます。